

CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東那珂用地物流施設建設工	階数	地上4F
建設地	福岡県福岡市博多区東那珂2丁目52-1の一部、52-2	構造	S造
用途地域	工業地域、防火指定なし	平均居住人員	350 人
地域区分	7地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年5月 予定	評価の実施日	2023年10月30日
敷地面積	5,732 m ²	作成者	栗原寿樹矢
建築面積	2,931 m ²	確認日	2023年11月13日
延床面積	11,494 m ²	確認者	定森淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.6 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★ 環境効率 BEE = 1.6	標準計算 30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★ ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	Q2 サービス性能 Q1 室内環境 Q3 室外環境(敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.2 音環境 2.8 熱環境 3.3 光・視環境 3.5 空気質環境 3.4	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.2 機能性 2.6 耐用性 3.1 対応性 4.0	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.0 生物環境 2.0 まちなみ 2.0 地域性・ 2.0
LR 環境負荷低減性		
LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.2 建物外皮の 5.0 自然エネ 3.0 設備システ 5.0 効率的 3.0	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 4.0 水資源 3.4 非再生材料の 4.3 汚染物質 3.7	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.5 地球温暖化 4.0 地域環境 3.5 周辺環境 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合		
・高い外皮性能を確保し、快適な室内環境を整えるよう努めた		その他 ・特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・使用建材全てにF☆☆☆☆製品を使用し、かつ高い昼光率を確保している。	・ゆとりのある階高と空間の自由さを確保し、設備やプランニングの自由度が極めて高い ・天井高さを十分に確保し、広さ感に配慮している。	・特になし
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・適切な断熱材を施し断熱材熱負荷抑制に努めている。	・建物の節水性に配慮し、雑排水の利用により水資源保護に努めている。	・光害対策に十分に配慮した計画を施している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される